

# 自律性確保に向けた低軌道衛星インフラ整備事業(J-LEO)概要

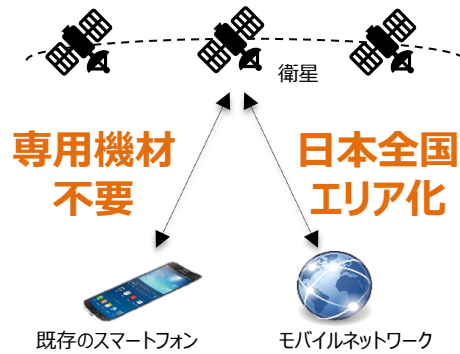
---

令和8年5月  
総務省国際戦略局

# 自律性確保に向けた低軌道衛星インフラ整備事業(J-LEO)①

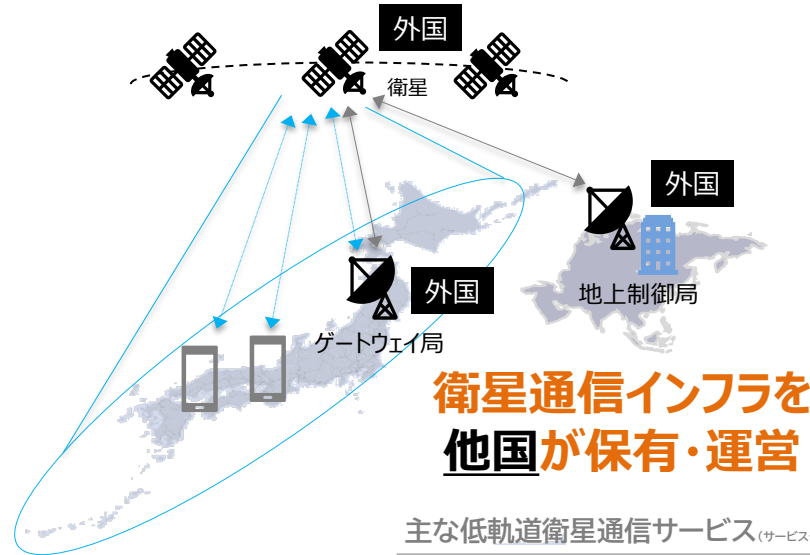
今後我が国にとって、  
自律ある衛星通信は不可欠

衛星とスマホの直接通信



現在は海外勢に依存しており、依存し続けることは  
経済安全保障上の大きな課題

低軌道衛星通信の現状



衛星通信インフラを  
他国が保有・運営

主な低軌道衛星通信サービス(サービス予定含む)

- 米国：スターリンク(スペースX)
- 米国：アマゾンレオ(アマゾン)
- 中国：千帆(スペースセイル) 等

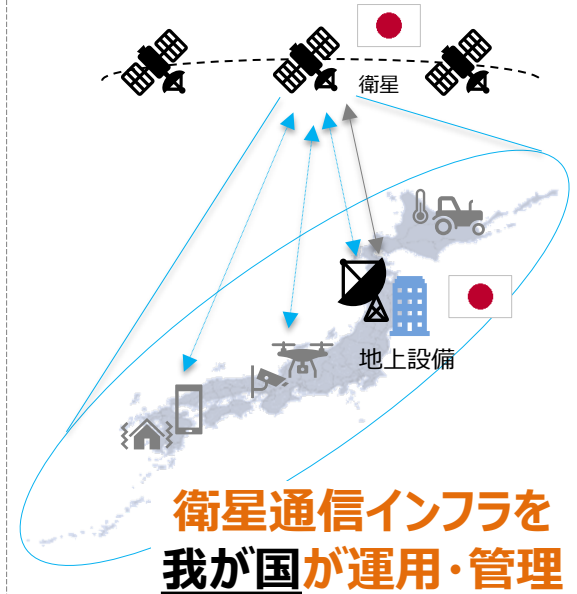
海外勢に依存することによる主な課題

- 経営判断による急なサービス提供の停止の恐れ
- 通信ニーズへの迅速・柔軟な対応に支障の恐れ



自律ある衛星通信インフラの  
整備を支援

目指す姿



衛星通信インフラを  
我が国が運用・管理

事業者による  
衛星・地上設備等  
の整備を補助

# 自律性確保に向けた低軌道衛星インフラ整備事業(J-LEO) ②

- 今後社会経済活動を支える新たな基盤となる低軌道衛星通信サービスの自律性確保に向けて、日本国内で運用・管理される低軌道衛星通信インフラを整備する。

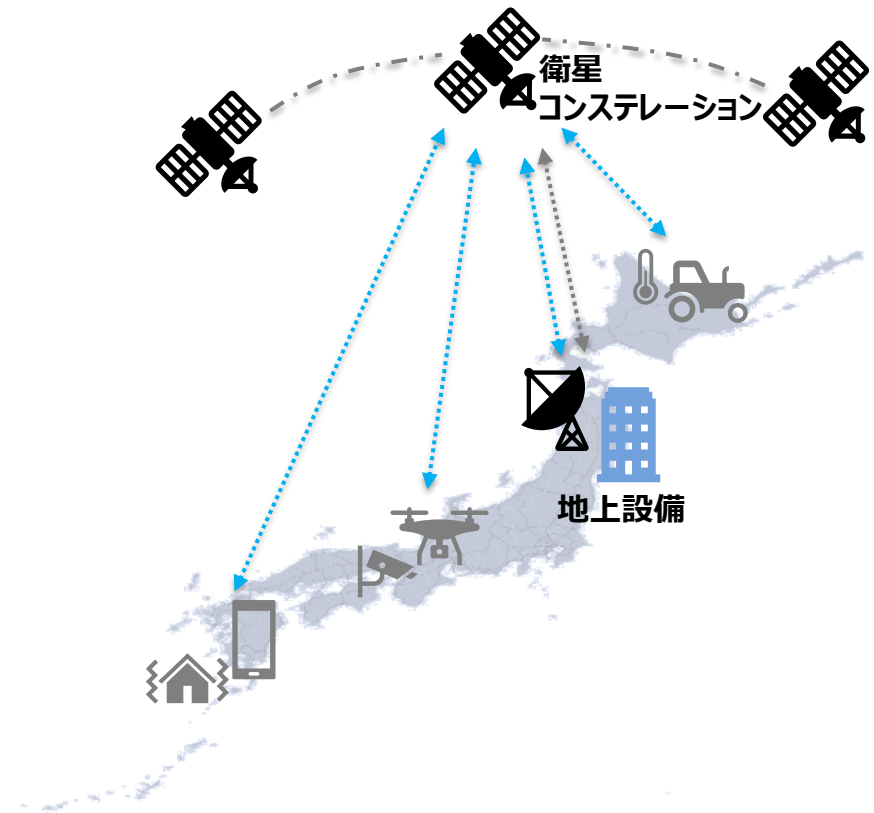
## <補助対象>

日本国内で運用・管理される低軌道衛星コンステレーションを活用した衛星ダイレクト通信サービスを提供する事業者に対して、衛星コンステレーションの構築に必要な、

- ①衛星の調達
- ②衛星の打上
- ③地上設備の整備への補助を行う。



## <整備イメージ>



## <支援スキーム>

※既存のデジタルインフラ整備基金へのメニュー追加



## <基金の執行スケジュール>

- 基金設置法人による事業者の公募 : 令和8年3月30日～
- 基金設置法人による事業者の採択時期 : 令和8年6月末見込み

総務省所管 令和7年度補正予算 1,500.0億円